

News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mobara City Assembly

「性別にかかわらず、個性を発揮」

この教育方針、どこか変ですか？



社会で活躍する女性
もう1人の女性知事(大阪府)
太田房江さん(左)と

千葉県議会で「千葉県男女共同参画の促進に関する条例」の成立をめぐり、独自の条例作りを目指す党本知事と、それを行き過ぎと非難する最大会派の自民党が正面から衝突しています。その結果、条例案は継続審議となり、これは、事実上の否決だと言われています。

議会が特に不適切な部分と指摘し、削除を求めている文言は、①「(教育の場で)性別にかかわらず、その個性及び能力を十分に発揮する」、②「性及び子を産み育てることについて、理解を深め、自らの意思で決定することができる」などです(下線部)。

私には、現代の社会情勢と傾向を見たとき、特に不都合はないように思えるのですが、皆さんはいかがでしょう。上の条文に反対する県議の意見には、例えば、①については、「女の子と、男の子と一緒に騎馬戦で戦うということか」、②については「女性が勝手に子供を産んだり、随したりするのを認めるのか」など、いささか極端な状況を想定したものが多いようです。

このような、個人の思いや日常的な感覚を離れない議論をいつまで重ねても、有意義な結論を導くことはできないと私は考えます。事の本質は、今の社会で女性がどのような社会的立場に置かれているかという事実の認識を新たにし、それに対して、行政がどのようなアクションを起こすのか、あるいは起こすべきなのかという基本的な合意にあります。

生物学的な男女の違いは見た目にも明らかですが、知的能力や社会的能力については男女間で統計的に大きな差が認められない、むしろ性別ではなく個人差の方が大きいというのが、最新の科学研究が示しているところです。この研究結果は、男女の「らしさ」を社会が強制していることの根拠の一つとなっています。

文化や伝統は大切ですが、それでも社会は変化していきます。新しい社会問題に対して一歩先んじ、適切に対処していくのが行政や議員の使命であるはずですが、今一番必要なのは、科学的な分析結果を全ての議員が理解・共有し、それに基づいた冷静な議論を始めることではないでしょうか。

はつたに ちづえ

特集：平成14年9月議会から

平成14年第3回定例会（9月12日から26日までの会期15日間）において議論された一般質問、委員会での質問からトピックを取り上げます。

● 長生郡市市町村合併問題について（➡ ホームページに掲載）

長生郡市市町村圏組合は、多くの事業を既に何年も共同で行っており、広域組合としては規模・内容共に県内随一です。このように長生地域は合併を議論する上で非常に有利な状況にありながら、今まであまり合併議論が盛り上がりなかった現状があります。

その理由として他町村から茂原市の財政問題が指摘されており、それはおそらく、茂原市の公債費残高に加え、債務負担行為（公債以外の将来的に支払うべき借金：平成13年度決算において178億）を指すのだと思われます。債務負担行為については昨年、償還計画を立て過剰な債務の解消に向けともかく対策がなされた所ですが、合併問題調査研究会の席上、他町村長ほどの程度、茂原市の債務を合併の障害と考えているのか、償還計画に対する意見なども含めて質問を致しました。また、委員会にて、任意の合併協議会内での議論された内容を住民にオープンにするため、議事録の公開を求めました。

市長のご答弁により、合併協議会の中で茂原市の債務が実際に話題になっていることが明らかになりました。また、議事録の公開については、担当課から、行政資料室での閲覧、インターネット上の公開を検討するとの返事をいただきました。

なお、私が所属しております合併問題調査研究特別委員会で、合併のおおまかなタイム・スケジュールとして、年内に合併重点支援地域の指定を受け、来年の3月までに法定合併協議会の設置をおこなう方向で検討している旨の説明がありました。（10/15現在、年内の設置にはこだわらない方針が出されています）

● 男性職員も育児休業制度の活用を！（➡ ホームページに掲載）

役所内の平成13年度における女性職員の該当者は育児休業を100%取得しており、女性は過去3年間においては、かなりの高比率で取得しているにもかかわらず、一方、男性職員は過去において1人も取得していない状況です。

市長は役所では取得しやすい環境に努めているが、このような状況は母親の産後の健康回復、及び、母乳による保育等のため現在、女性の取得のみとなっていると認識していると答え、加えて、**取得する事により昇進などに不利な扱いを受けることはない**と言及しています。

子育てに対する女性の精神的な負担は大きく、少子化対策のひとつとして男性の育児参加は大変重要です。昨年の法改正により、対象年齢を一歳未満から三歳未満に引き上げられ、男性職員の育児休業制度の利用する道も大きく開かれております。私は役所が率先して、男性職員の育児休業制度の取得推進を行うべきだと考えます。役所内においても男女とも「育児休業を取得したい人が取れる」職場環境づくりを要望いたしました。

● 長生郡市広域市町村圏組合の情報公開について（➡ ホームページに掲載）

茂原市は広域組合（ゴミ・水道・病院・斎場事業などを行う機関）に対し、全負担額の63%[約34億円]（12年度決算）と、長生郡市7カ市町村の中で最も多く費用を負担しています。にもかかわらず、市民が利用できる情報公開制度は広域組合にありません。なぜ、茂原市行政と密接な関わりを持つ広域組合の情報が公表できないのでしょうか？**茂原市の議員である私も一部の書類の閲覧を拒否されました。**この件を市長に質したところ、**今後情報公開制度が整備していきたい**と述べられましたが、閲覧拒否の件についてはお答えがありませんでした。

はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを昨年8月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp/> です。この他、ヤフー

検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。

